

『社会科中学生の歴史』の特色一覧

①教育基本法との対応

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
<p>第1号</p> <p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<p>○歴史学習の基本的な約束事を学ぶ学習の冒頭は、キャラクターによるマンガ形式にすることで、学びへの意欲を喚起するようにした。(p.2-5)</p> <p>○節のはじめに、大きなイラストから読み取りができる「タイムトラベル」を12か所設けた。これにより、生徒の興味・関心を引きつけ、「主体的な学び」を促せるようにした。(p.24-25,34-35,48-49,58-59,80-81,102-103,122-123,168-169,218-219,242-243,256-257)</p> <p>○単元のはじめの「章の問い」「節の問い」、各見開きの「学習課題」と「確認しよう」「説明しよう」、章や節の終わりの「振り返ろう」というように問いを構造化することで、単元のまとまりのなかで「深い学び」が実現できるように構成した。(全編)</p> <p>○本文は、具体的に例示したり、社会的な事象の背景や因果関係までわかるようにしたりするなど丁寧でわかりやすくし、幅広い知識と教養を無理なく身に付けられるようにした。(全編)</p> <p>○「章の学習を振り返ろう」の右ページでは、「歴史的な見方・考え方」を働かせた言語活動を行うことで、学んだ知識に基づいて「深い学び」が実現できるようにした。(p.57,93,147,209,255,285)</p> <p>○「多面的・多角的に構想するー未来に向けて」では、第1部第1節と同様にマンガ形式を活用することで、歴史の学習を公民の学習へと橋渡ししていく導入とした。(p.286-287)</p>	<p>おもに 特色1 p.5-14 特色3 p.25-32 特色5 p.37-40</p>
<p>第2号</p> <p>個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<p>○「人物コラム」を49名分設け、日本の「近代化」や諸問題に取り組んだ人物の努力や工夫を描写することで、個人の創造性、自主・自律の精神、職業と勤労を重んじる態度を涵養できるようにした。</p> <p>○「技能をみがく」コーナーでは、資料の見方などの情報収集や情報のまとめ方などの技能を身に付けることで、自主・自立の精神を涵養できるようにした。(p.5,7,8,9,10,37,38,52,145,189,231,249の計12か所)</p> <p>○インクルーシブ教育に配慮し、誰でも読み取りやすい書体(ユニバーサルデザインフォント)や色調を導入することで、さまざまな特性をもつ生徒の価値を尊重して、その能力を伸ばせるようにした。(全編)</p> <p>○二次元コードを随所に設置することで、授業以外においても生徒が自主的に活用できるようにした。(巻頭3など計26か所)</p> <p>○教科書の用紙は、丈夫でありながら従来より単位面積あたり約5%軽量化したものを新たに開発し、持ち運びの際に生徒の負担にならないようにした。(全編)</p>	<p>おもに 特色2 p.15-24 特色5 p.37-40 および p.43-46</p>

『社会科中学生の歴史』の特色一覧

①教育基本法との対応

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
<p>第3号</p> <p>正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>○「タイムトラベル」や文化史をはじめとした本文では、為政者の視点だけでなく、庶民の視点からも歴史を捉えられるように配慮することで、社会の形成に対する考えを深められるようにした。(全編)</p> <p>○特設ページ「多面的・多角的に考えてみよう」では、異なる考えや対立する考えを併記した資料を扱うことで、多面的・多角的な考察を行えるようにした。これにより、さまざまな立場をふまえた社会の発展を考えていく態度を養えるよう配慮した。(p.144-145,188-189,230-231)</p> <p>○コラム「未来に向けて」では人々が連携・協働して社会的な課題に取り組む姿を紹介し、特設ページ「多面的・多角的に構想する」では学習した内容をもとに社会的な課題の解決に向けた構想ができるようにした。これにより、生徒自身も社会の一員としての公共の精神をもち、主体的に社会の形成に参画する意識を高められるようにした。(p.203,286-287など)</p> <p>○近代部分では世論の影響について、社会の公正さが拡大された面と、戦争に向かう動きが加速された面の双方を丁寧に記述することで、多面的・多角的な考察のもとで主体的に社会参画していく重要性を意識していけるようにした。(p.221,233,235,237)</p> <p>○教科書中のキャラクターは、全体として男女の比率がほぼ同じになるよう留意した。(全編)</p>	<p>おもに 特色1 p.5-14 特色2 p.15-24 特色3 p.31-32 特色5 p.37-38</p>
<p>第4号</p> <p>生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>○コラム「未来に向けて 人権」などで、人権に関わる内容を扱い、さまざまな立場の異なる人々への理解を促すことで、生命や個人の価値を尊ぶ態度を養えるようにした。(p.83,91,163,184,215,265,281など)</p> <p>○コラム「未来に向けて 環境」などで、自然環境や自然災害に対する当時の人々の考えや営みを紹介することで、自然との共生をめざす態度を養えるようにした。</p> <p>○国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」を、歴史と未来を考える視点として紹介することで、自然を大切に、環境保全に寄与する意識を高められるようにした。(p.51,67,87,127,143,153,203,205,227,283,286-287)</p>	<p>おもに 特色2 p.15-24</p>

『社会科中学生の歴史』の特色一覧

①教育基本法との対応

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
<p>第5号</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>○各地のさまざまな伝統行事や祭りを取り上げることで、日本の文化の多様性に気付かせ、日本の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした。(巻頭1)</p> <p>○身近な地域の歴史を調べる学習では、地域の偉人を事例として取り上げることで、郷土愛を涵養できるようにした。(p.6-11)</p> <p>○世界の歴史の本文記述と資料の充実、イラスト世界地図の新設により、外国の歴史や文化に興味・関心をもてるよう配慮したほか、歴史の転換点となった国際情勢が理解できるように配慮した。(p.14-23,42-47,94-101,156-159など)</p> <p>○古代の文明や宗教についての本文を、わかりやすい記述や、偏見を与えない記述にするよう努めることで、他国の伝統文化を尊重する態度を養えるようにした。(p.16-23)</p> <p>○各時代の文化史のページを充実させ、日本のさまざまな文化財や芸術をはじめ、当時の社会のなかで人々が形成した習慣や文化への理解を深めることで、日本の伝統に対する教養と愛着を育めるようにした。(p.42-47,52-55,66-69,88-91,108-111,132-133,138-141,204-207,224-227,274-277)</p> <p>○コラム「地域史」や特設「歴史を探ろう」を随所に設け、中央の歴史だけでなく地域から歴史を見ることで、郷土への理解を深め、愛着を養えるようにした。(p.31,32-33,68,72-73,100,101,113,128,142-143,176-177,185,199,200-201,228-229,240-241など)</p> <p>○古代から現代まで、琉球とアイヌの人々について一貫して記述することで、独自の歴史や文化への理解を深め、尊重する態度を育めるようにした。(p.78-79,118-119,120-121,182-183,250-251,269,281など)</p> <p>○コラム「未来に向けて」の「交流」「平和」などでは、国家や地域の枠組みを超えて共生に向けて活動した先人たちの姿を紹介することで、多様な人々が共存する社会を築く上でヒントとなる知識を学べるようにした。(p.77,235など)</p> <p>○「歴史を探ろう 日本の領土画定と近隣諸国」では、近隣諸国との歴史的経緯を丁寧に記述し、それに関する開国以来の日本政府の取り組みが国際法に則ったものであることを理解できるようにした。(p.266-267)</p>	<p>おもに 特色2 p.15-24 特色4 p.33-36 および p.41-42</p>